

震災で傷ついたふるさとの心を 「映画」で支えることは出来ないだろうか？

「物置のピアノ」から、
震災後の現状を知ること、
復興のために
「自分に何ができるのか」を
と一緒に考えるきっかけにして
いただきたいと思います。

映画プロデューサー橋内裕人さんをお迎えし、映画製作にまつわるさまざまなお話を聞かせていただきます。

先着
120名

10:10～12:50
カンファレンスホール
※申込不要
当日9:30より受付



物置のピアノ

福島県の中通りにある桑折（こおり）町にある
桃農家を営む小さな家族の物語です。

2012年7月。あの震災から一年後の夏
高校3年生の宮本春香（17）が奏でるピアノは薄暗い
物置から夏草の薫りの中に溶け込んでゆく—
ある日、東京の大学に通う姉・秋葉（20）が突然帰って
くる。
優秀で何でも器用にこなす人気者の秋葉といつも
比べられてきた、不器用で臆病な春香。
そんな春香にとってピアノを弾いている時が唯一の心安
らぐ時間であり、物置は世界の中心だった。

●企画・製作：武重邦夫 ●監督：似内千晶 ●原作：原みさほ
●プロデューサー：佐々木裕二／橋内裕人

<http://www.cinemanest.com/monookinopiano/>

ステージ企画

— 映画上映／映画トーク —

カンファレンスホールでは、震災前から制作され震災後に完成された映画「物置のピアノ」を特別上映します。
福島の名産である桃の農家を舞台に、家族のつながりの大切さに
気づいていく姉妹の成長が描かれた作品です。映画『物置のピアノ』の
プロデューサーの橋内裕人さんのトークをお送りいたします。

— トークセッション —

映画のあとは立命館と福島とのあいだで結ばれてきた縁を紐解く
トークセッションです。放射線防護学という観点から、「福島の保育
園児に安心な散歩道を」とこどもの心身の発達を支援してきた安
斎育郎先生、避難者支援の現場から福島県が置かれた風評と風
化の政策の推進の立場を務める野地誠さん、そして大学1回生の
冬に仲間たちと始めた福島県での活動を縁に2015年度の1年
間は休学し檜葉町で支援に取り組んでいる西崎芽衣さん、加えて、
プロデューサーの橋内裕人さんにもご参加いただきます。

16:00頃～
福島県産品が
当たる
抽選会

ホール企画

「ふくしまの今」を伝えようと、福島県と立命館のそれぞれがパネル展
示を行うほか、福島県産食材を使用した試食・試飲など、幅広い企
画で皆さんをお迎えします。会津地方に古くから伝わる
縁起物「起き上がり小法師」の絵付け、福島県
のシンボルキャラクター「キビタン」と一緒に体
操、クイズなど、体験型の企画も多数。皆さん
の参加をお待ちしています！



ライブラリー企画

市民や学生、教職員など世代を超えて、地域の方々と共に学びの
場を育てる「まちライブラリー@OIC」を舞台に、福島を語り継ぎ、語り
合う場を設けます。福島県の語り部さんによる紙芝居で震災当時
のお話し、福島の様子を伝えていただきます。また今回の催しを記
念して、福島に関する本を「植樹」ならぬ「植本」するセレモニーも
実施します。本と語りを通じて交流を深めてください！

《お問い合わせ先》

立命館災害復興支援室

TEL.075-813-8282

E-mail: 311fukko@st.ritsume.ac.jp

12月20日の連絡先: 080-1412-9489

福島県総務部広報課

TEL.024-521-7124

お願い

- ・会場には駐車場がありません。公共交通機関でお越しください。
- ・キャンパス内は全面禁煙です。キャンパス及び近隣の喫煙はご遠慮ください。
- ・都合により内容など変更になることがあります。
- ・詳細は当日会場で配布するチラシをご覧ください。
- ・主催者が広報などの目的で会場内の写真撮影をすることがあります。

《会 場》

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

B棟 立命館いばらきフューチャープラザ

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

電車でお越しの場合

- JR 茨木駅から徒歩約5分
- 阪急南茨木駅・大阪モノレール南茨木駅から徒歩約10分
- 阪急茨木市駅から徒歩約20分
- 大阪モノレール宇野辺駅から徒歩約7分

バスでお越しの場合

- 阪急茨木市駅から約7分 ●枚方市駅北口から約45分

